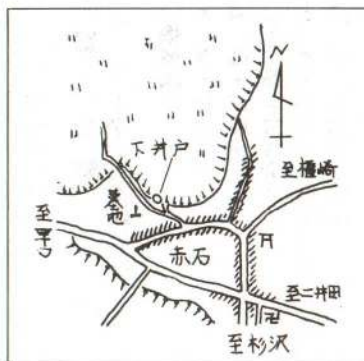


# 大館の歴史散歩 泉 ⑥

赤石は北側を米代川、背後を引欠川が西流する大館盆地の西部に位置する集落である。安政五年ごろできたと考えられる『郷村史略』には「古城屋敷構の地なり、浅利の家主赤石美作知行四十三石納戸役浅利分限帳二有りという者居せりとそ」と見える。赤石氏は、この村に成長した地侍として村落を



支配し、浅利氏に服属していたものであろう。

下井戸は、村の中を東西に通る道路の北側、墓地の手前の崖の中間から湧き出る清水である。赤石には数箇所の共同井戸があったが湧水は下井戸だけで、七・八世帯が利用していた。掘り抜き井戸の技術の発達していなかった時代、各戸に井戸がなかったころまで、

村人は朝夕水桶を担いで下井戸まで通ったものだった。お盆の前には必ず、皆で井戸さらいをし、屋根を新しい杉皮で葺き、水溜めの縁止め板を新しく取りかえ、野菜や山菜を洗い、夏はいろいろな食べ物を冷やすのにも利用された。この湧水はヨコエビが棲むほどきれいでおいしいということで、お盆や彼岸には墓にかけたり、汲ん

で持ち帰り、家の仏壇に供えたりした。今ではほとんど利用されることもなく、手入れもされず荒れてはいるが、農作業でかわいたのをうるおしている。下井戸の上の台地の木立ちの間から北方を見渡すと、大館盆地の大穀倉地帯が広がり、稲穂が重く垂れ、秋の風にそよぐ。



(市役所・史跡探訪会)

## 図書館

### コーナー

#### ～新着図書～

##### 「人工水晶体」

(吉行淳之介著 講談社)

白内障で右目の視力が僅かに光しか感じなくなった著者が、最新の治療法である人工水晶体移植手術を受け、見事に1.5まで視力を回復した体験のほか、さまざまな病気に對する養生訓練をまとめた本。人工水晶体移植手術の体験記は、より多くの同病者への実用記事として書かれている。

##### ＜一般書＞

- ◇カメラマン一代(宮川一夫著)◇よい戦争(S・ターケル著)◇美貌の女帝(永井路子著)◇悲しすぎて笑う(森崎和江著)◇馭者の秋(三木卓著)◇聖子は鳥になった(高橋和子著)◇百人の男(山口洋子著)◇荒野に追われた人々(ヨシコ・ウチダ著)◇踊る銀河の夜(丸山健二著)◇風の道(松本道子著)◇海底の黄金(山田道幸著)◇異人論(小松和彦著)◇アニマル・ウォッチング(安間繁樹著)◇ふじやまげいしゃ(池田満寿夫著)◇影の部分(なだいなだ著)◇聞き書きある憲兵の記録(朝日新聞社山形支局編)ほか

##### ＜児童書＞

- ◇さよならいじめられっこ(溝井英雄著)◇原爆の凶物語(宇佐美承著)◇わたしはふたつにわれない(エルフィー・ドネリー著)◇むかしむかしおばあちゃんは(神林利子著)ほか

#### ＜中央図書館の休館日＞

9月23日、26日 10月10日、20日、24日



## 施設めぐり

⑬

青少年ホームの隣りに保健センターがあります。保健センターでは、乳幼児の健康診断をはじめ成人病検診、各種予防接種などの事業を行っています。

このほか温泉と山なみと清流に囲まれた矢立峠の自然美の中にある市民保養所「峠の家」や墓園センター「東雲閣」、小柄沢墓園、十瀬野墓地公園の管理なども行っています。保健センターは、市民の皆さんの健康維持と増進を図るため昭和五十

六年3月にオープンしたものです。健康食、成人病食などを調理する実習室や、軽度の脳卒中などの後遺症をもつ方のための機能訓練室などがあります。皆さんの健康づくりに大いにご利用ください。また、健康についてのご相談は保健センターへおたずねください。☎42-9055

### 保健センター(三の丸)

## 青少年ホーム 後期講座の受講生募集



- ＜料理Aコース＞ ……全20回  
と き・10月7日から毎週月曜日  
講 師・ 藪田 レイさん
  - ＜料理Bコース＞ ……全20回  
と き・10月3日から毎週木曜日  
講 師・ 田村 弘子さん
  - ＜生花＞ ……全20回  
と き・10月1日から毎週火曜日  
講 師・ 山田 フミさん
  - ＜和裁＞ ……全20回  
と き・10月2日から毎週水曜日  
講 師・ 川田 幸子さん
  - ＜社交ダンス＞ ……全10回  
と き・9時30分から月曜日と金曜日  
講 師・音響友の会会員
- じかん・いずれの講座も午後6時半～9時  
申込み及び問合せ・9月20日から青少年ホームで受け付けます。☎42-0872  
※教材費は料理、生花が1回につき500円、その他は無料です。

おとり号駐車場の変更……今月から旧曲田分校前が、「曲田自治会館前」に変わりますので、お間違いのないようご利用ください。